

平成26年度 校内研究計画

1 研究主題

主体的に聞き、自分の考えを伝えられる児童の育成

～言語活動の充実を通して～

2 研究のねらい・目的

本校の児童は保育園から高校まで同じ学校・学級での生活を送っている。自分の思いや考えを伝えるのに短い言葉で表現している。そのため、日常会話で言葉が乱暴になったり、うまく自分の思いを伝えられずに友達とトラブルになったりすることが見受けられる。児童の表現力を高めるために言語能力を高め、豊かな言葉が使える児童を育む。

本研究では、児童の論理的思考力・表現力をはじめとする言語能力の向上を図るため、古典文学等の音読や暗唱、説明や討論等の言語活動を取り入れた授業の実施など、伝統的な言語文化の理解や社会生活に役立つ言語の技能の育成を重視する。基礎・基本、思考力・表現力、主体的な学習の三本柱を指導の中心とする。

今年度は、「主体的に聞き、自分の考えをもつ」児童を育成することを重点に研究を進める。教員や友達の話をつた何となく聞くのではなく、主体的に聞けるように育てていく。

3 児童の実態から目指す児童像

		低学年	中学年	高学年
重点	聞く	大事な事を落とさないようにしながら、興味をもって聞くこと。	話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりすること。	話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。
	話す	知らせたい事を選び、事柄の順序を考えながら、相手に分かるように話すこと。	伝えたい事を選び、自分の考えが分かるように筋道を立てて、相手や目的に応じた適切な言葉遣いで話すこと。	考えた事や自分の意図が分かるように話の組立てを工夫しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。
話す・聞く	言語活動例	<ul style="list-style-type: none"> ・尋ねたり応答したりすること。 ・自分が体験した事などについて話をする事。 ・友達の話を聞くこと。 ・読んだ本の中で興味をもったところなどを紹介することなど。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な話題についてスピーチをすること。 ・要点などをメモに取りながら聞くこと。 ・身近な出来事や調べた事柄について説明したり報告したりすることなど。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを資料を提示しながらスピーチをすること。 ・目的意識をもって友達の考えを聞くこと。 ・調べた事やまとめた事を話し合うことなど。

書く	自相目的 手の意意識 の考識、 え	相手や目的を考えながら、書くこと。	相手や目的に応じて、適切に書くこと。	目的や意図に応じて、自分の考えを効果的に書くこと。
	取材	書こうとする題材に必要な事柄を集めること。	書く必要のある事柄を収集したり選択したりすること。	全体を見通して、書く必要のある事柄を整理すること。
	構成	自分の考えが明確になるように、簡単な組立てを考えること。	自分の考えが明確になるように、段落相互の関係を考えること。	自分の考えを明確に表現するため、文章全体の組立ての効果を考えること。
	記述	事柄の順序を考えながら、語と語や文と文との続き方に注意して書くこと。	書こうとする事柄の中心を明確にしなが、段落と段落との続き方に注意して書くこと。	事象と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。
	推敲・評価	文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いなどに注意すること。	文章のよいところを見付けたり、間違いなどを正したりすること。	表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること。
	言語活動例	<ul style="list-style-type: none"> ・絵に言葉を入れること ・伝えたい事を簡単な手紙などに書くこと。 ・先生や身近な人などに尋ねた事をまとめること。 ・観察した事を文などに表すことなど。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙を書くこと。 ・自分の疑問に思った事などについて調べてまとめること。 ・経験した事を記録文や学級新聞などに表すことなど。 	<ul style="list-style-type: none"> ・礼状や依頼状などの手紙を書くこと。 ・自分の課題について調べてまとめた文章に表すこと。 ・経験した事をまとめた記録や報告にすることなど。

4 研究仮説

- 「確かな学力の定着」のために学習指導を工夫し、児童の学習環境や指導体制を整備し、授業方法を改善することによって、「主体的に聞ける児童」の実現に迫ることができるだろう。
- 国語の学習から言語能力を高め、各教科、道徳・特活など全教育活動を通して「言語活動の充実」を図ることによって、「豊かな言葉が使える児童」の実現に迫ることができるだろう。

5 研究する教科・研究組織

- 分科会で何の教科で主題に迫るかを検討し、決定した教科で研究授業を実施。
- 低・中・高学年分科会に分かれて研究授業を実施する。

※必要に応じて研究分科会を設定。研究部を中心に分科会や学年ごとの情報交換を密にする。

6 研究授業

【一般授業】

- 全員が一般授業として授業を公開する。
- 必要に応じて部会で研究会を開く。

【研究授業】

- 分科会ごとに1名授業を行う。
- 必要に応じて部会で研究会を開く。
- 事前授業を実施し、協議をする。
- 授業研究会の役割を分担する。(授業記録、協議会司会・記録、写真・ビデオなど)

7 学習発表会

研究の成果の発表の場とする。

8 朝のミニ学習時間(始業前の15分の学習タイム)

- 週4回「朝学習」を実施し、基礎学力の定着を図る。
 - 火曜日:「漢字練習」
 - 水曜日:「算数」ベーシックドリルや問題集で授業の復習
 - 木曜日:「言語活動」「言語活動集会」音読・読書・作文・視写など
 - 金曜日:「読書」「読書集会」

9 言語活動を意識した授業の構築(全教科で実施)・・・項目は今後検討(参考)

- 各教科等や学年における言語活動のリストアップ
- 学習過程に言語活動を位置付ける ●付きたい力を明確にした授業
- 相手・目的意識を明確にした「書く」「話す」「聞く」「伝え合う」授業
- 学習形態を工夫する(個・ペア・グループ・集団検討)
- ねらいの視覚化 ●自己評価・他者評価

10 学習規律の徹底

- 神津小の学習スタンダード作成

11 言語環境整備

- 掲示物の見直し(9月から「話を最後まで聞く」表示を全教室に掲示)
- 辞書の整備 ●板書計画

12 家庭・地域との連携

- 保護者への情報提供(HP・お便り・保護者会など) ●地域ボランティアの活用
- 図書館との連携①(図書室の整備による読書環境の充実)
- 図書館との連携②(読み聞かせの充実)

1 3 2年間の活動計画

(1) 第1年次

- 「主体的に聞く力」を育て、「言語活動の充実」に関する授業実践と学習活動の見直し
- 「確かな学力の定着」のために学習指導を工夫し、児童の学習環境や指導体制を整備することによって、「主体的に聞ける児童」の実現に迫る
 - 国語の学習から言語能力を高め、各教科、道徳・特活など全教育活動を通して「言語活動の充実」を図ることによって、「豊かな言葉が使える児童」の実現に迫る
 - 「言語活動」の充実を実現するために、各教科の学習活動を見直し、すべての教員が同じ認識を共有する。「言語活動」としてふさわしい指導を共有する。

(2) 第2年次

- 「言語活動の充実」に向けた授業改善と学習環境の整備
- 前年度の反省を生かして授業を改善し、各教科、道徳・特活など全教育活動を通して「言語活動の充実」を図る。
 - 年度当初から、学校全体で共通した学習規律や指導法を実践する。
 - 「確かな学力の定着」のために学習指導を工夫し、児童の学習環境を整備することによって、「主体的に学習する児童」の実現に迫る。

1 4 研究の方法及び期待できる成果（2年計画）

(1) 第1年次

【研究の方法】

- 事前授業の実施 ○授業実践研究（事前研究会・授業分析・事後研究会）
- 児童の実態・変容調査 ○各教科の指導計画の見直し

【期待できる成果】

- 本校児童の「言語活動」の実態が把握でき、各教科の課題が明確になる。
- 全教育活動で実践することにより、学校全体で指導しようとする意識が高まる。
- 各教科の情報を共有し、学習活動を見直すことで、全ての教員が同じ認識のもとで指導できる。

(2) 第2年次

【研究の方法】

- 事前授業の実施 ○授業実践研究（事前研究会・授業分析・事後研究会）
- 児童の実態・変容調査 ○各教科の学習指導の工夫
- 児童の学習環境の整備

【期待できる成果】

- 前年度に明確になった児童の課題について具体的な指導が実践され、授業が改善される。
- 年度当初から、学校全体で共通した学習規律や指導法が実践でき、「言語活動」の充実が図れる。
- 学習環境が整備されることで、正しい言葉が使用できるとともに、児童が安心して学習できる環境が作られる。

15 今後の予定

日時	会議・研究・研修	内容
5/29(木)	研究部会	校内研究計画提案文書検討 学習発表会内容提案文書検討
6/2(月)	学年会	校内研究計画提案文書検討 学習発表会内容提案文書検討
6/4(水)	研究全体会3	校内研究内容決定・周知 学習発表会内容決定・周知 研究授業者検討・教科検討
6/10(火)	研究部会	研究授業指導案枠検討・掲示物・神津小スタンダード検討
6/18(水)	研究分科会	研究授業者決定・教科決定 掲示物・神津小スタンダード検討 研究授業に向けて準備
6/26(木)	学年会	研究授業に向けて準備
6月中		7/14研究授業指導案提出(大島支庁)
7/2(水)	研究分科会	研究授業に向けて準備
7/8(火)	研究部会	研究授業に向けて準備
7/14(月)	研究授業①	6年 教科:音楽 (授業者:音楽専科)「島しょ研」
9/17(水)	研究授業②	5年 教科:国語
10/22(水)	研究全体会	
11/19(水)	研究授業③	4年 教科:算数
12/17(水)	研究分科会	
1/28(水)	研究授業④	2年 教科:道徳(予定)
2/18(水)	学年会	研究の成果と課題・来年度にむけて
2/25(水)	研究全体会	研究の成果と課題・来年度に向けて
3/13(金)	研究全体会	教育計画印刷